

施策番号	0801		
施策名	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援		
概要	中小企業の経営の安定、向上を図り、地域の経済力を高めるため、中小企業への金融支援を行うとともに、産業支援機関等による経営支援や技術・研究開発支援、人材育成など、企業ニーズに即した支援事業を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・新産業振興室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市新価値創造ビジョン，京都市産業戦略ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	企業課題対応済み件数(件)	b	a	193	174	200	87.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	b	c	42	178	157	59	20	456
				9.2%	39.0%	34.4%	12.9%	4.4%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	c	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					28年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 当該施策においては、企業ニーズに即した支援が重要であるため、企業課題の解決状況に係る客観指標を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	染色整理業者に対する上下水道料金の減免	26,325	28,639	良い	産業観光局
2	地域経済活性化支援事業	1,128	1,298	かなり良い	産業観光局
3	C S R (企業の社会的責任) の推進支援	2,876	3,110	普通	産業観光局
4	中小企業金融支援事業	49,944,150	40,140,789	かなり良い	産業観光局
5	中小企業活性化支援事業	7,161	7,391	良い	産業観光局
6	京北商工会事業助成	5,098	5,098	良い	産業観光局
7	異業種交流等連携支援事業	3,598	3,439	良い	産業観光局
8	地域プラットフォーム事業	26,400	13,507	良い	産業観光局
9	京都市創業支援工場(V I F)	355	500		産業観光局
10	未来創造型企業支援プロジェクト	19,742	19,742	良い	産業観光局
11	中小企業経営支援事業	92,172	96,473	良い	産業観光局
12	中小企業パワーアッププロジェクト	31,212	31,212	良い	産業観光局
13	京都クリエイティブ海外展開助成制度	4,335	4,005	良い	産業観光局
14	中小企業海外展開支援事業	16,845	16,210	良い	産業観光局
15	京都市未来創生企業成長プロジェクト	20,422	16,900	良い	産業観光局
16	京都市中小企業未来力会議	13,206	16,827	普通	産業観光局
17	中小企業等チャレンジ支援事業	16,469	23,010	かなり良い	産業観光局
18	ものづくり(ハードウェア)ベンチャー戦略拠点事業	0	15,017		産業観光局
19	IoTビジネス推進事業	0	6,078		産業観光局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・未来の京都を担う有望な中小・ベンチャー企業等の発掘から育成までの一貫したハンズオン(企業と伴走し、課題解決に向けた様々な支援を実施すること)による支援策等を展開する。
 ・新たなイノベーションを生み出す中小・ベンチャー企業の新事業創出を促進するため、ビジネスプランのブラッシュアップ(磨き上げ)や資金調達、魅力ある新商品・新サービス等の販路開拓支援等、金融、経営、技術・研究開発、事業化、海外展開など総合的な支援策を展開する。

施策名	0801	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援				
指標名	企業課題対応済み件数（件）					
担当課	新産業振興室		連絡先	2 2 2－3 3 2 4		
1 指標の説明						
経営者の課題解決を図る中小企業パワーアッププロジェクトにおいて、経営課題を発掘し、継続的なフォローを行うパワーアップコーディネータが訪問し、企業の課題に対して対応した件数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
支援企業（訪問企業）の課題解決に向けた取組状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	193	174	19件減	200	これまでの実績を踏まえた目標値を設定	87.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、経済状況によって課題発生数が増減するなど、外的要因によるところが比較的高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		272829 baa	